

- 1 日時 平成23年5月25日(水) 6校時 1年2組教室
- 2 学年 1年2組(男子18名 女子14名 計32名)
- 3 主題名 奉仕の心 4-(2) 公德心、社会連帯
- 4 資料名 朝の清掃ボランティア活動で(教材開発委員会作)

5 主題について

(1) ねらいとする価値について

公德心は、社会生活の中で守るべき正しい道としての公德を大切にできる心である。この公德を大切にできる心が、一人一人の日常生活の中で生かされる事で、住みよい社会が実現される。また、社会生活においては、一人一人が共に手を携え、協力しだれもが安心して生活できる社会をつくっていかうとする社会連帯の自覚は欠かすことができない。この社会のすべての人々が、自分も他人もともどもによりよく生きようとしていることを自覚することから、互いに助け合い励まし合うという社会連帯の自覚も出てくる。社会全体に目を向けるとき、個人の向上と社会の発展とが、矛盾しないような在り方が求められ、よりよい社会の実現に向けた個々の努力が日々積み重ねられることが必要となる。

(2) 生徒の実態

事前に行ったアンケートによれば、質問項目「友達から何かをたのまれたら、それをやってあげようと思う」「勉強がわからない友達がいたら、手助けをしてあげようと思う」に対して「ときどきあてはまる」と答えた生徒がそれぞれ67%、50%おり、公德心や社会連帯の意識が高いとは決して言えない。普段もクラス全体に関わる事よりも、自分の事を優先してしまう場面がよく見られる。昼休みになると給食当番であるにも関わらず放置して遊びに行ったり、掃除や係の仕事も他の人がやるから自分はやらなくて良いと考えたりする生徒が多くを占める。役割をしっかりと果たす生徒の中にも、何か頼み事をして、自分の仕事ではないからする必要は無いという発想がよく見られる状況である。

6 指導観

(1) 資料について

同じ年代の生徒の実体験をもとにした資料で、生徒には親しみやすいものとなっている。また、本校では先日ボランティア清掃を実施し多くの生徒が参加した所であり、ボランティアをテーマとした本資料により一層実感を持ってふれる事が期待できる。

(2) ねらいを達成させるための工夫について

導入では、共感的な雰囲気をつくり、先日のボランティア等これまでの経験を振り返らせ、「めんどろ」「やりたくない」等の本音もしっかり出させる。中心となる「ボランティアのよさ(意味)」について考える場面については、グループで意見交流をさせ、多様な視点から、道徳的価値について考えを深めさせるようにする。

7 本時のねらい

朝の清掃ボランティア活動に参加している生徒思いに共感する事を通して、よりよい社会の実現と自分のかわりについて考えを深める。

【生徒の今の考えと授業を通して高めたい(あるいは気づかせたい) 考え】

〈生徒の今の考え〉

〈高めたい・気づかせたい考え〉

- ボランティアはいいことだと思うが、面倒だからやりたくない。
- 先生や親に言われるから、仕方なくやっている
- ボランティアをする人は物好きだな。なぜやるのかわからない。



- ボランティアをすることは人や社会のためだけでなく、自分のためにもなるんだな。
- ボランティアを通して、人とふれあえるという良さもあるんだな。
- 友達と一緒になら、今度やってみてもいいな。地域の人喜んでくれるかな。

	主な学習活動	支援 (◎) と評価 (★)
導入	<p>1 ボランティア活動の経験を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先日行われたボランティア活動に参加した生徒がいるか聞く。</li> <li>・他にボランティア活動に参加した事がある人がいるか聞く。</li> </ul>	<p>◎【提示映像1】を提示し、イメージがわきやすいようにする。</p> <p>◎参加する前の思いも聞き、本時の資料につなげる。</p>
展開	<p>2 資料を読んで話し合う。</p> <p>①ぼくの、これまでのボランティア清掃についてのとらえについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ぼくは、ボランティア清掃に対してどんな思いを持っていたでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めんどくさい。</li> <li>・人の落としたごみを拾うのはばからしい。</li> <li>・あまり人とは接したくない。</li> </ul> <p>②ぼくの、ボランティア活動に対する思いの変化について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ぼくがボランティア活動について見直したことは、どのようなことでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人にほめられるのもいい。</li> <li>・地域の人と話すのもいいものだ。</li> <li>・ごみがなくなると気持ちいい。</li> <li>・ボランティア活動にもっと参加したい。</li> </ul> <p>③ボランティア活動をする意味は何か考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みなさんは、ボランティア活動をする意味はどのようなことだと思いますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と出会うことで自分が社会の一員だと思えること。</li> <li>・人のための活動が自分のためになること。</li> <li>・視野が広がること。</li> </ul>	<p>◎ 先日のボランティア活動の時の写真を見せイメージをもたせる。</p> <p>◎ 生徒の実体験にも触れ、ぼくの気持ちにしっかりと共感させる。</p> <p>◎ 補助発問例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒会長の言葉からどんなことを感じ取ったか。</li> <li>・ 地域の人話を聞いてどんなことを思ったか。</li> </ul> <p>◎ 自己のことについて考える生徒が多い可能性があるため、まわりとのかかわりについて教師が考えを広げられるよう促す。</p> <p>★ 自分を社会貢献と結び付けて考えている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>言語のめあて 「なぜそう思ったのか」等、根拠まで発言するように促す。</p> </div>
終末	<p>3 学級内でボランティア活動に参加している生徒の活動記録・感想等を紹介する。</p>	<p>【提示映像2】達成感、爽快感、充実感が表れている記録を紹介する。</p>

板書計画

**ボランティア活動に参加するよさは？**

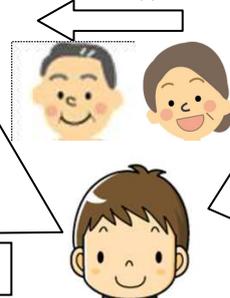
- ・人と会うことで自分が社会の一員だと思える事。
- ・人のための活動が自分のためになる事
- ・視野が広がる事

**参加後**

- ・人にほめられるのもよい
- ・地域の人と話すのも良いものだ
- ・ごみがなくなると気持ちよい
- ・もっと参加したい

**やってみようかな**

生徒会長  
おじさん  
おばさん  
と話して



**参加前**

- ・面倒くさい
- ・人のおとしたゴミを拾うのはばからしい
- ・あまり人と接したくない

**やりたくない**